

未来の
収穫祭
2019

丸亀市

HOT サングルスプロジェクト実行委員会

未来の
収穫祭
2019

丸亀市

・

HOT サンドルフプロジェクト実行委員会

目次



はじめに……	1
講師コメント……	2~3
本島……	5~15
広島……	17~31
手島……	32~43
小手島……	44~55
ワークショップ……	56~61

はじめに

HOT サンダルプロジェクトは、香川県丸亀市内の離島に、美術を専攻する学生が滞在し、制作活動に取り組むことで、アートによる島の活性化、若手芸術家の制作活動支援および丸亀市の文化芸術振興の推進を目的として、2012年から実施しています。

8回目を迎えた2019年は29名の学生が参加し、島の方々と学生との交流が深まり、島内が活気に満ち溢れ、実りあるプロジェクトとなりました。

今回参加した学生たちが島の美しい自然や島の方々との温かい交流の中で制作した作品をご紹介します。

丸亀市・HOT サンダルプロジェクト実行委員会

HOT サンドルフプロジェクトによせて



香川県丸亀市がアートによる島の活性化と、若きアーティストの活動支援、文化芸術振興を目的として、2012年にHOT サンドルフプロジェクトを発足させてから今夏で8年目を迎えました。

美大生を対象としたアート・イン・レジデンスは少なく、スタッフが各大学で説明会を開いてプロジェクトの丁寧な紹介を行ってきました。そのおかげで、毎年約30名の学生が参加して本プロジェクトは8年目を迎えることが出来ました。

プロジェクトでは、参加した学生全員が島に滞在して制作し、島の方々とワークショップを行うなどこれまで様々な活動をしてきました。瀬戸内海に浮かぶ島には様々な魅力が潜んでいます。優しく豊かな色彩が溢れる大気の中、学生達は新鮮な気持ちで作品に取りくむことが出来たと思います。

また大学や学年の枠を越えて生活を共にしたことも、大きな財産となりました。島に滞在した日々は、島の方々がらいただいた暖かな心遣いととも、参加した学生達の記憶に何時までも残ることでしょう。

これまでHOT サンドルフプロジェクトを見守り育てて下さった皆様に心から感謝し、お礼申し上げます、これからは本プロジェクトをよろしくお願い申し上げます。

三浦耐子／日本画家／武蔵野美術大学名誉教授





本島 Honjima



多摩美術大学

清水 巴月 Hazuki Shimizu

「日々、始まる」 116×183 和紙、雪肌麻紙、水干絵具、岩絵具、墨、胡粉

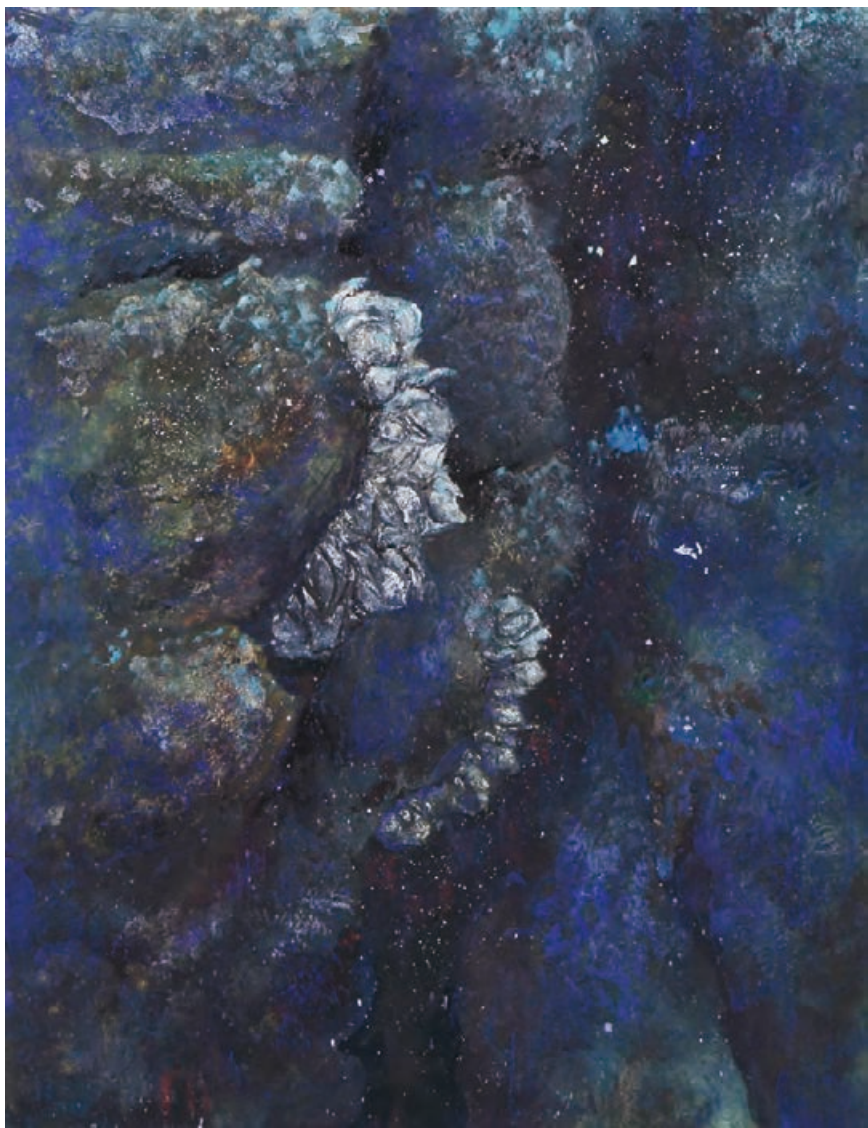


多摩美術大学

陳成 Chen Cheng

左：「夜の瀬戸大橋」 38×45.5 和紙、岩絵具、墨

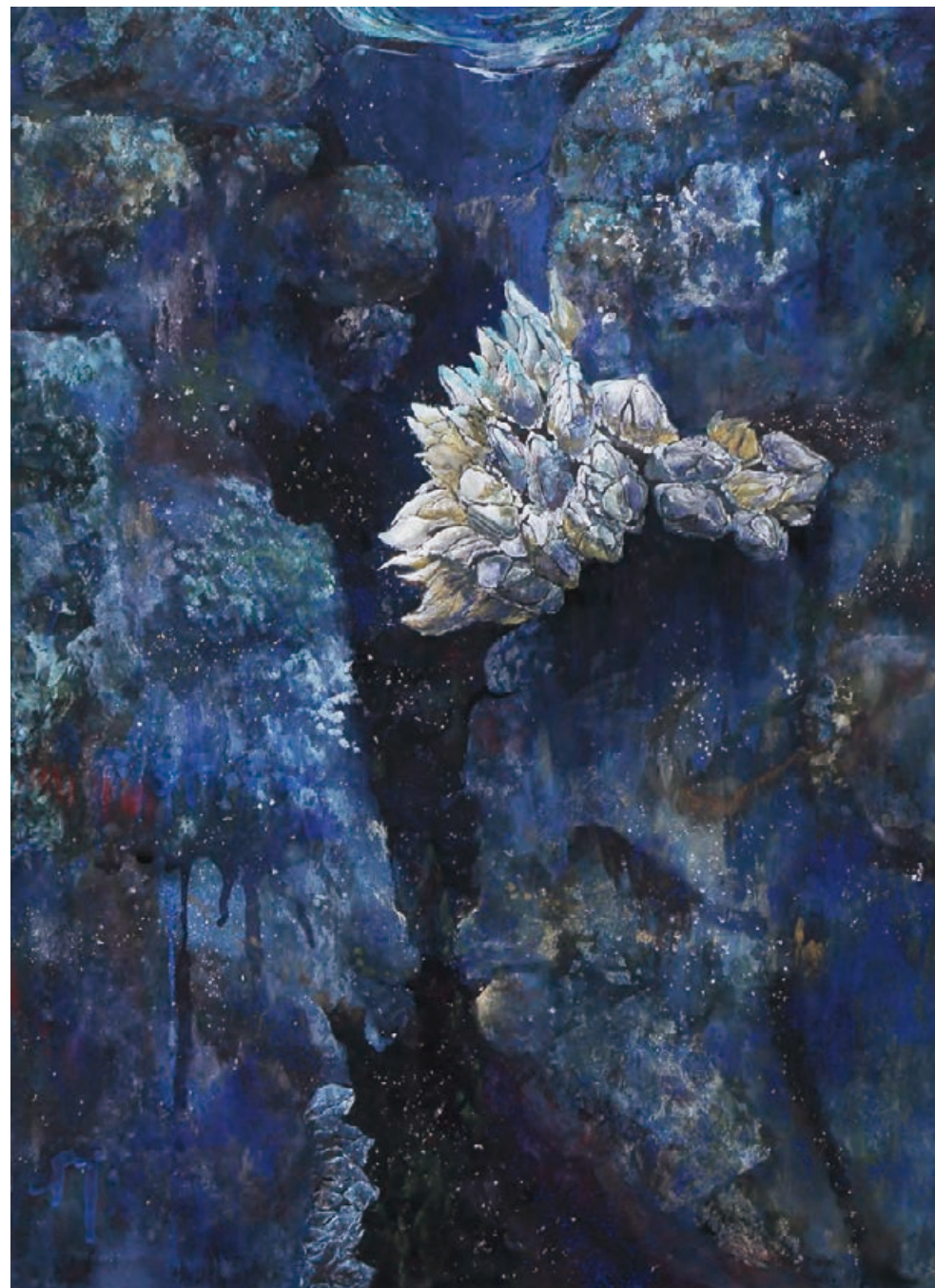
右上：「ねこ」 24×19 青木石、岩絵具 右下：「印象」 200×72 和紙、岩絵具、墨



金沢美術工芸大学

西山 果歩 Kaho Nishiyama

左：「静黙」 41×31.8 右：「静黙」 72.7×60.6 和紙、水干絵具、岩絵具、箔、胡粉





金沢美術工芸大学

藤田 怜子 Reiko Fujita

左：「心」 53×45.5 和紙、水干絵具、岩絵具 右：「フォルトナ」 40.9×31.8 アクリルガッシュ、洋箔





女子美術大学

家洞 杏菜 Anna Yabora

上：「Sun rise」 90.9×72.7 麻紙、岩絵具、石、木製パネル、透明水彩

下：「ハイビスカス」 15.8×22.7 木材、水干絵具、岩絵具、墨

上：「ねこ」 15.5×22.5 木材、水干絵具、岩絵具、墨

下：「time to color」 35×21.5 コンクリート、水干絵具、墨

広島 Hiroshima





武蔵野美術大学

中島 百花 Momoka Nakajima

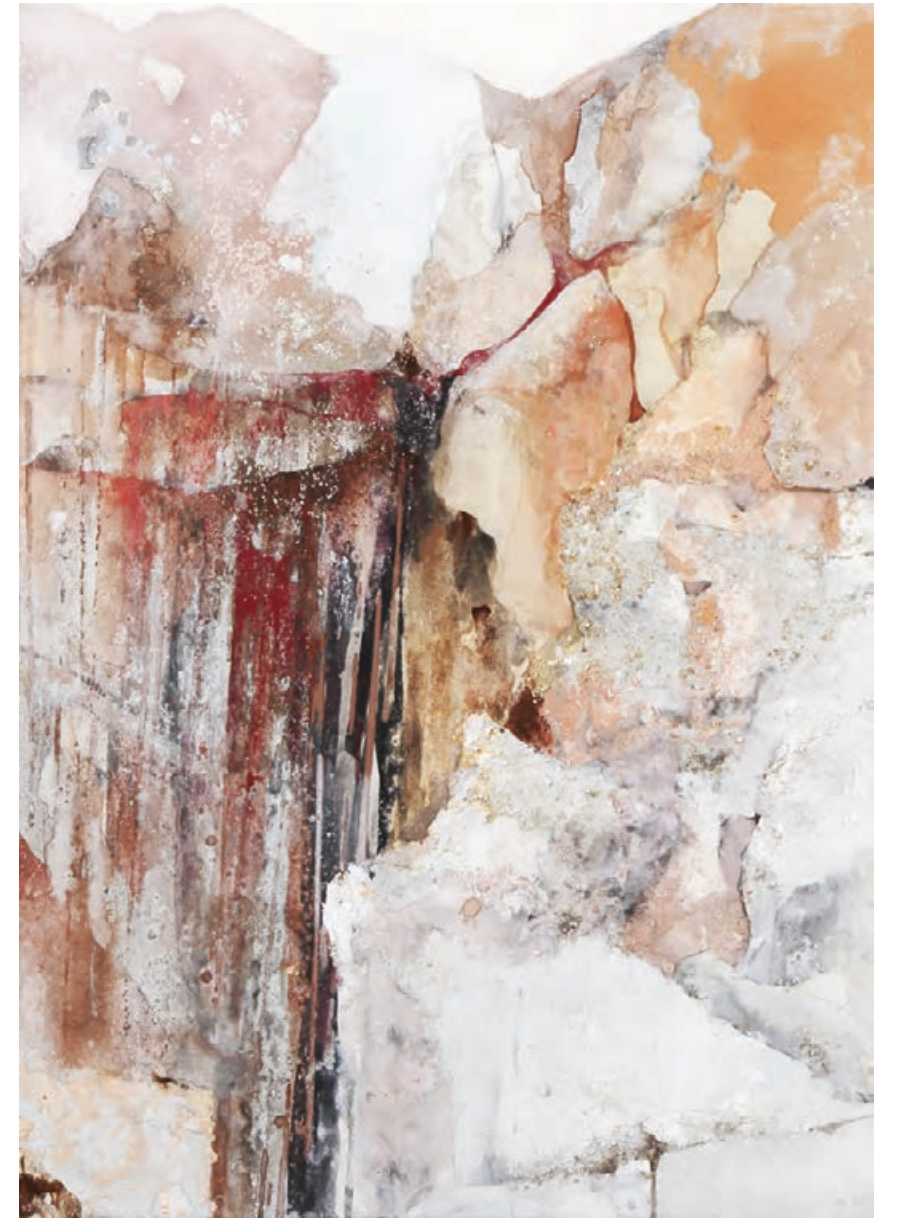
上：「海の主張」 29.7×42

下：「船底と海の優しい境」 29.7×42 和紙、水干絵具、岩絵具



上：「波」 20.5×62.5 青木石、水干絵具、岩絵具

下：「謎の実 1」「謎の実 2」 18×14 和紙、水干絵具、岩絵具



武蔵野美術大学

西村 えり花 Erika Nishimura

上：「採石 第 59-012 号」 22.7×15.8 中央：「朽葉天蛾」 18×14

下：「サインポール」 19.8×36.11 雲肌麻紙、水干絵具、岩絵具、雲母

中央上：「旧宿舎 I」 42×59.4 雲肌麻紙、水干絵具、岩絵具、雲母

中央下：「旧宿舎 II」 22.7×15.8 雲肌麻紙、水干絵具、岩絵具、雲母、銀箔

右：「丁場」 65.2×45.5 雲肌麻紙、水干絵具、岩絵具、雲母



多摩美術大学

中井川 絵里 Eri Nakaiigawa

「more」 130×162 和紙、水干絵具、岩絵具、墨



多摩美術大学

南雲 未希 Miki Nankumo

「溶け」 120×91 吉祥和紙、水干絵具、岩絵具、水性色鉛筆、海の砂



多摩美術大学

渡邊 美咲 Misaki Watanabe

「散歩」 130×62 吉祥和紙、水干絵具、岩絵具、膠、色鉛筆、水性色鉛筆



多摩美術大学

岡本 幸穂 Yukiho Okamoto

「瀬戸内」 30×30×30 青木石



多摩美術大学

工藤 雄大 Yuudai Kudo

「シマノカタチ序」 35×50×45 青木石



多摩美術大学

鈴木 しの (Shinano Suzuki)

「ねこ」 29×38×5 青木石



多摩美術大学

福田 大晃 (Hiroaki Fukuda)

「流止」 50×50×60 青木石



多摩美術大学

室橋 沙月 Satsuki Murohashi

「また明日」 50×30×70 青木石



多摩美術大学

吉野 慧祐 Keisuke Yoshino

「鷹振る」 30×30×30 青木石





多摩美術大学

雨下 乃絵 Noe Amashita

「彼は誰時」 130×162 和紙、水干絵具、岩絵具、墨



多摩美術大学

江越 里南 Rina Egoshi

「息の緒に」 162×162 和紙、水干絵具、岩絵具、砂、クレヨン、色鉛筆



多摩美術大学

岡 千尋 Chihiro Oka

「青に舞う」 162×162 和紙、水干絵具、岩絵具、箔



多摩美術大学

小川 太希 Taiki Ogawa

「岩」 92×233.4 和紙、水干絵具、岩絵具



多摩美術大学

小堺 百笑 Kozakai Moe

「泳ぎに行く」 168×230 吉祥和紙、岩絵具



多摩美術大学

陳 柏欣 Chen Pohsin

「夜の手島港」 103×218.4 麻紙、落水紙、岩絵具



京都市立芸術大学

出澤 涼子 Ryoko Dezawa

「赤い実」 72.7×91 麻紙、岩絵具、墨



多摩美術大学

朴 泰賢 Taehyun Park

「傷跡、その後、それでも。」 162×97 吉祥麻紙、水干絵具、岩絵具、墨、白金泥

お花壇 Oteshima





沖縄県立芸術大学

小林 実沙紀 Misaki Kobayashi

左：「今日が始まる」 72×90 右：「明日をのぞむ」 72×90 雲肌麻紙、水干絵具、岩絵具、雲母、墨

金沢美術工芸大学

田中 優佳子 Yukako Tanaka

「アソビ場」 60.6×72.7 和紙、水干絵具、岩絵具、墨





東北芸術工科大学

保住 朱里 Akari Hozumi

上：「あの夏の思ひ出」 46×132 下：22×16.5 (3点) ミュウグラウンド、水干絵具、岩絵具、墨



多摩美術大学

山崎花 Hana Yamazaki

「廻」 92×183 和紙、水干絵具、岩絵具



金沢美術工芸大学

横山 茜 Akane Yokoyama

左：「波の綾」 90×37.5 (2点) 右：「通せんぼ」 24×24 和紙、白和紙、色鉛筆、水干、岩絵具、墨、金泥

ワークショップ / 講師コメント

水引とは、和紙をコヨリ状にした紙紐で、「幸せ」や“縁”“絆”を結ぶ…」

平成から令和に代わる頃、正木会長より「香川の伝統工芸である水引の魅力を島の方々や学生達に是非感じてもらいたい」とのお話を頂き、水引の魅力を伝えられるワークショップとは？水引の魅力は？伝えていきたいことは？を考えて参りました。

当日は島の方々にはあわじ結びのチャーム作り、学生達には大うちわの松竹梅飾りを体験して頂きましたが、実際に水引に触れてみて如何でしたでしょうか。水引の意味合いや魅力を少しでも感じて頂ければうれしいです。また、島の方々と学生達が世代を超えて「ここをこつた方がええんちゃうん。こんな色はどう？」と楽しそうに一緒に取り組んでいる姿そのものが、本来のモノづくりの魅力であると思います。これからも各世代一緒にモノづくりを楽しんで頂けますと幸いです。

学生の皆様へ

この夏、縁が結ばれ瀬戸内の島々で活動されてきましたが如何でしたでしょうか。あまり経験のない島での生活や島の方々との交流、志を共にする他大学の学生たちとの共同生活。一つ一つがこれから飛躍していく皆様の大きな糧になるかと思えます。

人や物事との出会いは一生の宝物。これからは様々な勉強をし、自らの才能を開花させていくものと思いますが、一つ一つの出会いに無駄なものはありません。関心がある事もない事もどんどん経験して、大きく成長してください。皆様の益々のご活躍を祈念申し上げます。

最後になりましたが、このような貴重な機会を頂きました正木会長はじめ実行委員やボランティアの方々、ワークショップに参加して頂きました島の方々や学生の皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

結納センターつちだ
土田裕也



HOT サンドラルプロジェクト 2019

島民・学生ワークショップ作品 Workshop



本島滞在学生作品



広島滞在学生作品



手島滞在学生作品



小手島滞在学生作品

HOT サンドルフプロジェクト 2019 参加者



本島

- ・清水 巴月
- ・陳 成
- ・西山 果歩
- ・藤田 怜子
- ・家洞 杏菜

広島

- ・中島 百花
- ・西村 えり花
- ・中井川 絵里
- ・南雲 未希
- ・渡邊 美咲
- ・岡本 幸穂
- ・工藤 雄大
- ・鈴木 しのの
- ・福田 大晃
- ・室橋 沙月
- ・吉野 慧祐

手島

- ・雨下 乃絵
- ・江越 里南
- ・岡 千尋
- ・小川 太希
- ・小塚 百笑
- ・陳 柏欣
- ・出澤 涼子
- ・朴 泰賢

小手島

- ・小林 実沙紀
- ・田中 優佳子
- ・保住 朱里
- ・山崎 花
- ・横山 茜



未来の
収穫祭
2019

HOT サンドルフプロジェクト 2019 作品展覧会 ～ 未来の収穫祭 2019 ～ 作品図録

制作発行：丸亀市・HOT サンドルフプロジェクト実行委員会

illustration&design: SAAYA MASAKI

撮影：スタジオ 仁

印刷：有限会社細谷印刷所





丸亀市・HOT サンドルスロジェクト実行委員会